大卒と高卒の給料差は、一部インターネットでは5万円となっています。しかし、これはあくまで月給の全国平均の差であり、実際に自分の手元に残る金額の差は、どのくらいなのでしょう？アバウトに考えてみます。

今回のテーマ

〈大卒・高卒賃金差（大一高）を考えよう〉

I とあるインターネットのデータより

- ① 大卒の初任給は月 24 万円
- ② 高卒の初任給は月 19 万円
でも、1年ごとの昇級で4年後には20万円くらいになってるかも？
- ③ 大一高 = 4 万円！

II 税金（所得税・住民税）がひかれるぞ

- ・税金は、給料が高いほど金額も多くなるので、大卒の方が1万円ほど多くなる。ここの段階で、大一高 = 3 万円！

III 奨学金の返済があるひとは？

- ・貸与型奨学金を合計 480 万円（月 10 万円 × 4 年）借りたひとの返済は、月 2 万円 × 20 年。
- ・奨学金を借りた場合、就職後数年間は、大一高 = 1 万円

IV ただし、生涯賃金（とあるインターネットデータ）で考えると

- ① 大卒の生涯賃金は 25000 万円
- ② 高卒の生涯賃金は 21000 万円（同上）
- ③ 税金や大学進学資金を考えると、大一高 = 2500 万円

※生涯賃金 = 19 歳 ~ 65 歳（504ヶ月）の賃金 + 退職金

※①は全企業の平均値なので、一部大企業の少人数の賃金により値は大きくなっている

※①②ともに全国の平均値なので、北海道の値ははこれより少なくなる

※①②ともに一度も離職することなく働き続けた場合の理想値